第３２回市民自治推進委員会　都市調和部会会議録

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和３年１２月１６日（木）　１８：３０～１９：３０ |
| 開催場所 | 市役所本庁舎　２階　第１委員会室 |
| 出席者 | (部 会 長)山下　克彦　（副部会長）荒川　昌伸(部 会 員)工藤　保秋、冨永　史人(庁内委員)対馬　秀樹、佐藤　智(事 務 局)大越　智輝、佐々木　健、徳野　隼也(推進室)煤孫　泰洋(本庁舎整備推進室本庁舎整備推進グループ)(欠席委員)西尾　拓也、千葉　茂 |
| 議題 | 市役所本庁舎移転について |

（事務局）

本日の部会では、前回事務局から提案した市役所本庁舎移転について、本庁舎

整備推進室本庁舎整備推進グループより今後のスケジュール等について説明を行っていただきます。

（推進室）

本日は、本庁舎移転のスケジュールと、我々が検討していることを皆様に共有

させていただき、都市調和部会の今後の活動の参考にしていただきたいと考えております。まず、スケジュールについてですが、新庁舎の運用は令和８年度から開始したいと考えています。本庁舎の建設にあたっては、基本構想、基本計画、設計といった段階を踏みます。現在は基本構想、基本計画が概ね出来上がっており、来年から基本計画の改訂と、設計業務を行っていきたいと考えております。

本庁舎移転にあたっては、総務省が創設した緊急防災・減災事業債制度を活用し、市の負担を圧縮したいと考えております。当初は現在位置での建て替えを予定しておりましたが、北海道が公表した新たな津波浸水想定によると現在位置はこれまで以上に深く浸水する区域となったため、陸上競技場で建て替えを行うこととなりました。緊急防災・減災事業債制度は、こういった浸水区域から浸水区域外に庁舎を建て替える場合などに活用できる地方債制度です。

陸上競技場の敷地をどのように使って庁舎を建設するのかなどについては、民間事業者の提案を受けて検討したいと考えております。庁舎の階数について現時点では未定ですが、職員数や人口規模から延べ床面積は６，８００㎡程度を想定しています。庁舎内のスペースについては職員の執務室と議場が多くを占めますが、市民活動スペースや子育て関連施設、商業施設（売店）、金融機関、カフェなど、他の機能を入れるのかについても検討しています。しかし機能を増やすと延べ床面積が広くなり建設費用が膨らんでいくので、その点も含めて検討が必要だと考えています。また、近隣の公共施設についてですが、図書館が昭和４７年、給食センターが昭和４１年、青少年会館が昭和４４年、子育て支援センターが平成１２年に建設されており、どの施設も老朽化しています。これらすべてを新庁舎に入れることは難しいので、そのあたりも改めて精査する必要があると考えております。北広島市は本庁舎に子育て支援センター設置したほか、１階に子供関係の手続きができる部署を配置し、子育て世代が来庁しやすいようにしています。他には本庁舎に図書館を設置した自治体などもあります。

周辺の道路についてですが、現在も一定の交通量があるなか、市職員のうち２６０人ほどが自家用車で通勤しているため、交通量の増加が見込まれます。また、冬期間の路面凍結の可能性や勾配のある道路などもあるため、対策をしなければならないと考えています。

市民サービス機能については、ワンストップサービスやワンフロア機能などがありますが、それらの導入を検討しています。また、各種証明書のコンビニ交付などを進め、極力市民が市役所まで足を運ばなくてよい庁舎作りを検討しております。

（部会員）

　ICT技術の導入によってこれからは市民が市役所に来なくてもよくなるようになると思いますが、死亡に関する手続きなど来庁しなければならない機会もあると思います。そのような際に室蘭市のようなワンストップサービスが必要だと感じます。おそらく今後、町内会などの団体や市民に意見を伺う機会があると思いますが、色々な意見を参考にしてほしいと思います。

（推進室）

　死亡に関する手続きを一つの窓口で行うことのできる「おくやみワンストップ」などを導入している自治体があり、登別市でも導入を検討したいと考えています。

（部会員）

　交通アクセスについて、本庁舎移に伴い陸上競技場までの交通量が増えた際に、現状の道路のままではあまりス車の流れが良くないように感じるが、刈田神社前は道道でしょうか？

（庁内委員）

　刈田神社前は市道です。

（推進室）

　現在、市役所の駐車場に出入りする車両は、１００台程度であると把握しています。今年度廃止した労働福祉センター跡地を公用車の駐車スペースとすることも検討しましたが、あの場所は浸水域であり災害時に公用車が使用できなくなる恐れがあるため、難しいと感じています。また、バスで来庁するためのバス路線の増便や、バスの往来をしやすくするための道路整備についても検討しなければならないと考えています。また、職員と市民の庁舎までの道路を分けることも必要かもしれないと思っています。

（部会員）

　職員の駐車場はなるべく庁舎に近づけないようにしたらいいのではないでしょうか。

（部会員）

陸上競技場の敷地はかなり広いと思いますが、職員駐車場を庁舎の敷地内に作ることはできないのでしょうか。

（推進室）

庁舎と公用車駐車場を敷地内に設置した場合、残りの敷地がそれほど多くないめ、敷地内に職員駐車場を作ることは難しいと考えています。

（部会員）

　本庁舎は災害時の拠点になるのでしょうか？

（推進室）

　避難所にはなりませんが、災害時の拠点にはなります。陸上競技場の敷地に本庁舎を建設するメリットとして、高速道路の登別東ICからのアクセスがよいということもあります。

（部会員）

　予算を決めれば、建てられる庁舎の面積が決まります。面積が決まれば、どんな機能を本庁舎に入れるのか自ずと決まり、計画が早く進むと思います。

（部会員）

　本庁舎には他の商業施設等は入る余地はないのでしょうか？

（推進室）

　それも含めて事業者から提案を受けることを予定しています。

（部会員）

　バックヤード（書庫）は必要なくなるのでしょうか？

（推進室）

　登別市では電子決裁システムを導入しているため、多くの文書は電子データとして保管されますが、紙で保管するものも一部あります。本庁舎とは別の建物に保管している自治体などもあるため、そういった例を参考に検討したいと考えています。

（部会員）

　今は役に立たないかもしれませんが、いつか貴重な資料となる可能性があるものもあるので、そういったものは廃棄しないで残しておくべきだと思います。そういった意味で市史編纂室のような部署を常設する必要もあると思います。

（部会員）

　現庁舎に更衣室はないのでしょうか？民間企業は必ず更衣室と一人一つのロッカーは用意されているので、職員の福利厚生の面からも、ぜひそのようなスペースを作るべきだと思います。

（推進室）

　更衣室は現在はほとんどなく、ロッカー置き場兼更衣室のようなかたちとなっていて、３人で１つのロッカーを使用している部署もあります。そういった面も新庁舎では改善していきたいと考えています。

（部会員）

　新しい北見市役所の外観をみて、すごく素敵だと思いました。基本的には職員の皆さんが働く場所ですが、きれいな場所だと仕事の効率が上がるので、そのような庁舎を作るべきだと思います。一方で、旧北見市役所の庁舎も商業施設と併設していて市民の利便性がよく、いいアイデアだと思いました。浜中町はかなり標高の高い場所に庁舎を建設していて、市民にとっては利便性が良くないように感じますが、市民の利便性の面も他の自治体の庁舎を参考にするといいと思います。

（部会員）

　来庁者の交通手段は調査するのでしょうか？徒歩の方は駅からのシャトルバスなどがあればいいのではないかと思います。

（推進室）

　今後調査したいと考えております。

（部会員）

　今後、デジタル化の普及とともに、市民が来庁しなくても用事を済ますことができる市役所になることを想定した庁舎にすべきだと思います。

（推進室）

市としても、来庁しなくていい市役所づくりに向けて、令和８年度までにできる限りの機能を導入していきたいと考えています。

（推進室）

　先ほど委員の方からもご意見をいただきましたが、市役所は市職員が執務を行う場所でもありますが、市としては市民に親しみのある庁舎を作りたいと考えております。例えば旭川市でも現在新庁舎の建設を計画していますが、旭川市では、「市民が気軽に訪れ、集うことができる、明るく開放的な親しまれる庁舎」を目指して「みんなで創る新庁舎」として寄附を募集し、寄附者の氏名を銘板に刻印し、庁舎の一部に使用する取り組みを行っています。

　また、岩見沢駅舎建設の際も寄附者の氏名と出身地を刻印したれんがを駅舎正面に飾る「岩見沢レンガプロジェクト」を行っています。

　都市調和部会でも、新庁舎を市民に親しみのある庁舎にするための取り組みを考えていただけないでしょうか？

（部会員）

名前を刻印するだけでは面白くないと思いますので、珪藻土に市民の手形をつけ、それをどこかの内壁に採用するのはどうでしょうか。デザインぽく見せることもできると思います。珪藻土は吸湿性がよく、除菌効果や湿度調整機能もあるので、住宅にも採用されています。環境に良く、トレンド感もあり省エネです。

（事務局）

市民に親しまれる庁舎について、次回の部会でも引き続き協議したいと思います。

●次回の部会の開催日程　　令和４年１月に開催予定